

昆虫写真家

# 栗林慧

くりばやし さとし

にしじま はるき

# 西島治樹

媒体芸術家



〈平成28年度高岡市民会館事業〉

五環の森プロジェクト

# 「め・目・メ」展

平成28年5月28日(土)～7月10日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) / 月曜休館

ミュゼふくおかカメラ館 富山県高岡市福岡町福岡新559  
TEL 0766-64-0550

入館料 一般700円 / 大学生・高校生300円 / 小・中学生100円

※20名以上の団体は2割引 ※土・日・祝日は高校生以下無料

主催 / (公財)高岡市民文化振興事業団 高岡市民会館・ミュゼふくおかカメラ館 共催 / 高岡市、高岡市教育委員会、北日本新聞社、北日本放送、高岡ケーブルネットワーク  
協力 / 高岡市民会館ホールサポーターの会「パープル」、五環の森キッズ・パープル、富山大学芸術文化学部 特別協力 / 共信コミュニケーションズ株式会社 助成 / (一財)地域創造

# 五環の森プロジェクト

## ミュゼふくおかカメラ館企画展「め・目・メ」展

平成28年度、五環の森プロジェクトは2年目を迎えます。昨年はオーケストラ・アンサンブル金沢を迎え生演奏でのダンスバージョン「くるみ割り人形」クラシック音楽と身体表現での舞台公演でした。また、メディアアートとオーケストラ生演奏による視覚とクラシック音楽のコラボレーション表現を試みました。本年はその中から視覚を司る「様々な角度からの目」をキーワードに、コンセプトの違った作品をご覧ください。驚きと歓声が沸き起こる、新たな芽吹きを期待しての、展覧会とトークを企画しています。どうぞ見て触れて「感・動」してください。

前田一樹(五環の森プロジェクト エグゼクティブ・ディレクター)



### 五環マークの制作意図

平成27年度より高岡市民会館を中心に取り組み、五環の森プロジェクトは様々な創造空間を繋ぎ広げて参ります。創造空間は、文化創造都市を標榜する高岡市民、特に子供達の五感教育の場として当プロジェクトを捉え成長と育成を目指します。連携する五環(館)の意図は、分野を越えて生まれ備わる文化創造意識の象徴として考え、一方子供達の多様な未来と発展を表すサークルは、母に抱かれ育まれる心の連鎖を象徴し、五環の森として表現しています。



昆虫写真家

### 栗林 慧

Satoshi Kuribayashi



媒体芸術家

### 西島 治樹

Haruki Nishijima

1939年中国大陸(瀋陽)生まれ。長崎県平戸市在住。1960年東京総合写真専門学校卒業。1969年フリーの生物生態写真家となる。アンスコカラーコンテスト最優秀賞(‘65)、日本写真協会新人賞、ニコン伊奈信男賞(‘78)、西日本文化賞(‘91)、日本写真協会年度賞、科学技術映像祭において内閣総理大臣賞受賞(‘92)、日本写真協会年度賞(‘02)、サンケイ児童出版文化賞(‘05)、レナート、ニルソン賞(スウェーデン)(‘06)、長崎県民俗文化賞など受賞多数。これまで約60冊もの写真集など出版、個展は約50回を重ねる。医療用内視鏡などを基に、改良を重ねて作った自家製のレンズは、「虫の目」で見える風景を再現しているといわれており、国内外で高い評価を得ている。2008年紫綬褒章受章。

1971年静岡県生まれ。高岡市在住。美術家・媒体芸術家。東京芸術大学大学院修了後、IAMAS(岐阜県立情報科学芸術アカデミー)卒業。ARS Electronica /Award of Distinction賞(オーストリア)、Images Festival / Best of Installation賞(カナダ)、VIDA4.0 グランプリ(スペイン)など国内外で受賞。映像・コンピュータ・自然の法則を組み合わせて、仮説として捉えた世界感をメディアアート作品として発表。これまでに、電波、パチンコ、映画、国境などをテーマに、真面目なユーモアや大きな誤訳を作品に取り入れながら、様々な社会問題を提起する。五環の森プロジェクト(‘15)では「枯れたGPSのために」と題し、オーケストラ・アンサンブル金沢との共演を果たす。富山大学芸術文化学部准教授。

## 期間中のイベント

### ■ オープニングトーク「め・目・メ」

栗林 慧(昆虫写真家)×西島治樹(媒体芸術家)

コーディネーター: 広田郁世(美術家)

とき: 平成28年5月28日(土)午後2時~3時/ところ: カメラ館エントランス

### ■ イブニングトーク「視覚の解放」

西島治樹(媒体芸術家)×高橋裕行(キュレーター)

とき: 平成28年6月18日(土)午後6時~7時/ところ: カメラ館エントランス  
ナイトミュージアム/午後8時まで夜間延長(入館は午後7時30分まで)

### ■ 西島治樹ワークショップ「メディアアートをつくろう」

とき: 平成28年6月12日(日)午後2時~4時/ところ: カメラ館多目的ホール

\*事前申込要/6月7日(火)までお電話でお申込みください。

(高岡市民会館0766-20-1560)

\*募集内容/10名程度。どなたでもご参加できます。

当日は撮影可能なデジタル機器(デジカメやスマートフォンなど)をご持参ください。

### ■ 栗林 慧トークショー「ようこそ KURIVISIONの世界へ」

~生物生態映像作家 栗林慧が開拓した驚異の新世界~

とき: 平成28年7月3日(日)午後2時~3時/ところ: Uホール1階イベントホール

\*カメラ館入館券(あるいは半券)が必要です(当日会場受付で販売します)。

### ■ 五環の森プロジェクト×万葉

前田一樹(五環の森プロジェクト エグゼクティブ・ディレクター)がスペシャルゲストを迎え、次のステージを語ります。

とき: 平成28年7月10日(日)午後2時~3時/ところ: カメラ館エントランス

いずれも参加無料(ただし入館料が必要です)

主 催 / (公財)高岡市民文化振興事業団 高岡市民会館・ミュゼふくおかカメラ館  
共 催 / 高岡市、高岡市教育委員会、北日本新聞社、北日本放送、高岡ケーブルネットワーク  
協 力 / 高岡市民会館ホールサポーターの会「パープル」、五環の森キッズ・パープル、  
富山大学芸術文化学部  
特別協力 / 共信コミュニケーションズ株式会社  
助 成 / (一財)地域創造

企画・制作 / 五環の森クルー・高岡市民会館・ミュゼふくおかカメラ館  
エグゼクティブ・ディレクター / 前田一樹(富山大学名誉教授)  
笹井秀樹(株式会社アキデザイン代表)、石澤淳子(高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所所長)  
可西晴香(可西舞踊研究所代表)、西島治樹(富山大学芸術文化学部准教授)、広田郁世(美術家)  
開洋子(前高岡市民会館館長)  
協力 / 佐藤弘隆(富山大学芸術文化学部)